

上天草市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

上天草市一般廃棄物処理基本計画とは

上天草市環境基本計画の個別計画として、資源の節約や有効活用などによる循環型社会の構築に向けた今後の上天草市における一般廃棄物(ごみ、生活排水)処理の方向性を示す基本的な計画となるものとして平成24年度策定。

計画期間・見直し

- ・計画期間は、平成24年度から平成32年度の9年間としている(市環境基本計画と整合)
- ・社会経済情勢の変化などに対応するため、中間年度である今年度(平成28年度)を目途に計画の見直しを行う必要がある。

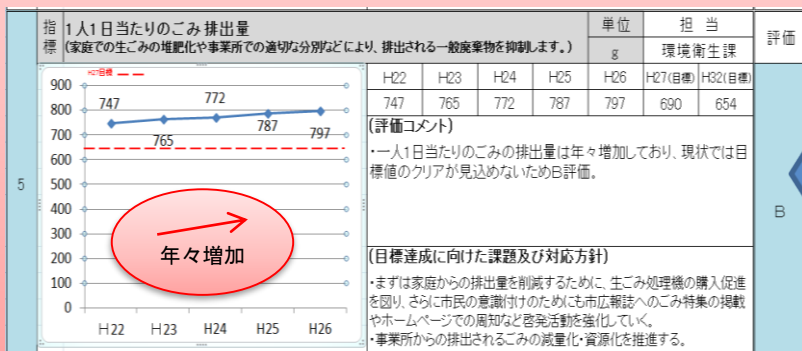
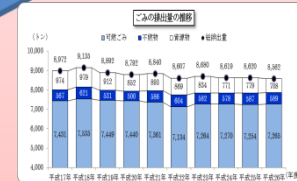
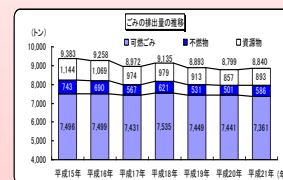


計画見直しの方針

➤ 計画期間中での中間の見直しであるため基本的な枠組みは変更をせず、具体的には第1章から第3章までの計画の基本的事項や一般廃棄物の現状と課題、将来推計については、トレンドを取り入れ現状に合わせた文言等の一部改定とし、使用している表やグラフの表示はできるだけ最新の年度のものを加える。

プラスチック ⇒ 容器包装プラスチック など

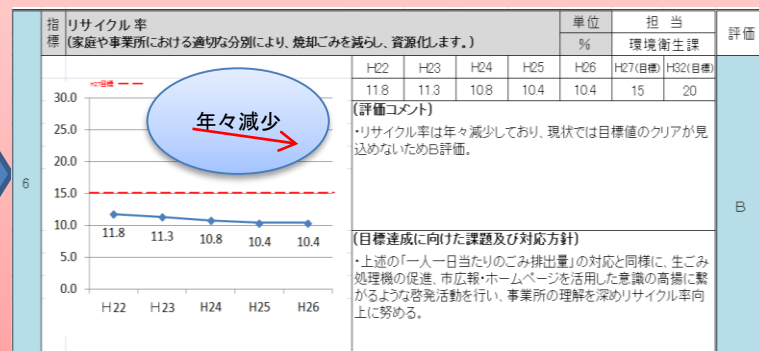
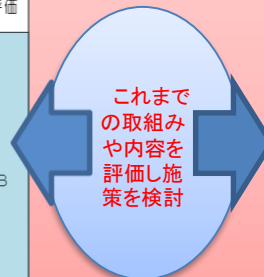
➤ 第4章基本計画については、基本施策や目標達成に向けた取り組みを本審議会で協議し、新たに必要なものの追加や施策等の修正などを行う。



指標	単位	担当	評価
1人1日当たりのごみ排出量 (家庭での生ごみの増量化や事業所での適切な分別などにより、排出される一般廃棄物を抑制します。)	g	環境衛生課	B

(評価コメント)
・一人1日当たりのごみの排出量は年々増加しており、現状では目標値のクリアが見込めないためB評価。

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
・まずは家庭からの排出量を削減するために、生ごみ処理機の購入促進を図り、さらに市民の意識付けのためにも市広報誌へのごみ特集の掲載やホームページでの周知など啓発活動を強化していく。
・事業所からの排出されるごみの減量化・資源化を推進する。



指標	単位	担当	評価
リサイクル率 (家庭や事業所における適切な分別により、焼却ごみを減らし、資源化します。)	%	環境衛生課	B

(評価コメント)
・リサイクル率は年々減少しており、現状では目標値のクリアが見込めないためB評価。

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
・上述の「一人1日当たりのごみ排出量」の対応と同様に、生ごみ処理機の促進、市広報・ホームページを活用した意識の高揚に繋がるような啓発活動を行い、事業所の理解を深めリサイクル率向上に努める。

これまでの取組み

- ◆マイバックの推進
- ◆ゴミの分別指導の徹底
- ◆家庭用生ごみ処理機購入助成

一定の施策の成果は上がっているが、1人あたりのごみの減量やリサイクル率の向上には直接繋がらない…

なぜなら

新たな施策の検討

- ◆ゴミ全体のうち包装プラの割合がぐくわずかだから
- ◆分別できてもゴミの量としては変わらない
- ◆これまで200件近く助成しているが、世帯割合では2%程度のため

だからもっと効果的な施策を実施

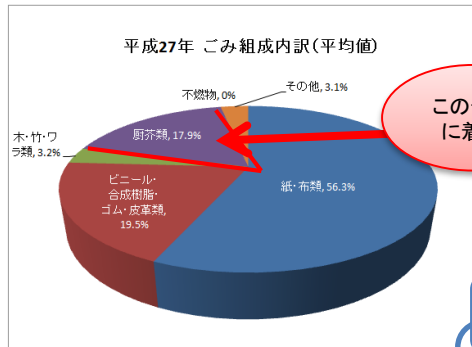
宴会の席では、初め30分と終わり10分は食事を楽しみましょう

新たな施策案

ゴミを減らす目的の施策として、3010運動などがあるが…

経済発展・健康増進には逆効果

- ・売り上げ低下
- ・メタボ増加…



この部分に着目

ゴミの発生量と経済発展は密接に関わっているため、1人あたりの排出するゴミ全体の減量に取り組むのではなく、生ゴミ(厨芥)のリサイクル化(堆肥化)に取り組む

水俣市などで実施

問題点

ただし…

まずは…

- 1 各家庭の生ごみ回収方法の確立が困難(排出方法、収集方法、悪臭対策)
- 2 定着させるためには、市民の意識付けや理解が必要(長期化)
- 3 予算の確保

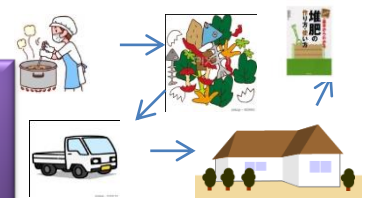
学校給食残渣の堆肥化を試験的に実施

1 登立小学校、大矢野中学校で試験的に実施

2 内容を精査し、課題抽出、対応

3 市内全小中学校で実施

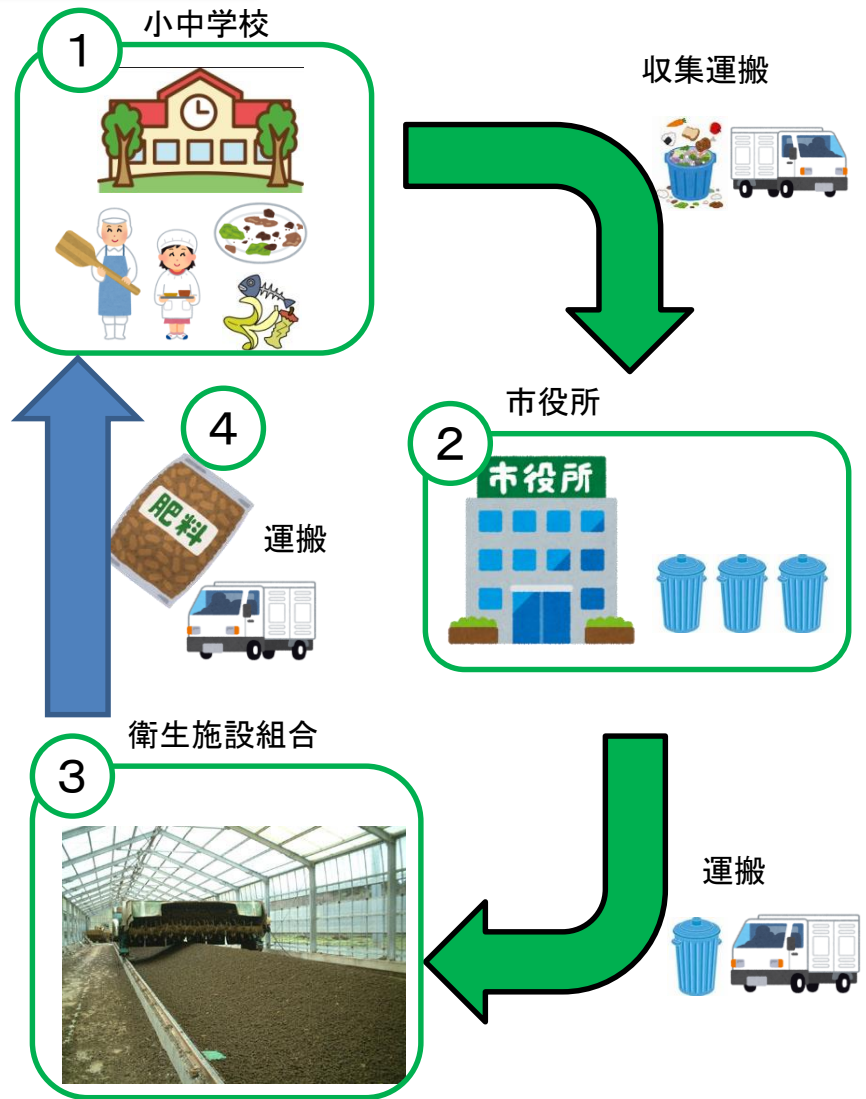
効果
リサイクル率向上
環境教育の浸透



学校施設から発生する生ごみの資源化に向けた運用テストのイメージ

イメージ図

登立小・大矢野中で試験的に実施



内容

- ①生ごみの発生
給食調理くず、食べ残しによる生ごみの発生
- ②生ごみの回収
大矢野中学校週5日、登立小学校週2日、市臨時職員による生ごみの回収。回収した生ごみは別容器に移し替え保管する。
- ③衛生施設組合への搬入
週1回、上天草衛生施設組合へ搬入する。
- ④生ごみの堆肥化
生ごみから生成された堆肥は学校の花壇で使用される。

学校給食生ゴミ詳細等

登立小学校
生徒数 235人
②の回収回数 週2回(月・木)
1日で排出される生ゴミ量 約30k

大矢野中学校
生徒数 325人
②の回収回数 週5回(平日毎日)
1日で排出される生ゴミ量 約10k

堆肥量積算

登立小の年間
生ゴミ量 6,000k
+
大矢野中の年間
生ゴミ量 2,000k

合計 8,000k

↓

堆肥量 800k

年間8,000kの生ゴミが堆肥にリサイクルされる

学校施設から発生する生ごみの資源化に向けた運用テストへのご意見

- ◆
- ◆
- ◆

新たな施策の提案等

-
-
-

メモ欄